

<泌尿器科>

一般（教育）目標

初期研修について泌尿器科は短期間の選択研修であるため、基礎的な考え方と技術を習得することが目標になる

(1) 基本目標

- (ア) 問診、理学所見、および検査結果から病態の把握ができるようになる
- (イ) ロボット支援手術、腹腔鏡下手術、開腹手術の助手ができるようになる
- (ウ) 膀胱鏡検査、導尿などの処置、簡単な内視鏡下手術を経験する
- (エ) 泌尿器科的周術期管理を習得する
- (オ) カンファレンス、学会などでの発表を行う

週間予定

回診は毎日、朝晩の7時30分からと17時から実施している

	月	火	水	木	金
午前	病棟処置・手術	病棟処置・外来	病棟処置・外来	病棟処置・手術	病棟処置・手術
午後	手術	手術	手術	手術	手術
夕			カンファレンス 抄読会		

(2) 習得目標とする検査、処置、手術

包茎環状切除術、精巣摘出術、尿路内視鏡検査、外尿道口切開、尿道ブジー、膀胱瘦造設術、前立腺針生検術、精巣生検術、陰嚢水腫穿刺術、尿管ステント挿入、腎ろう造設術、陰嚢水腫根治術、経尿道的膀胱腫瘍切除術（TURBT）、体外衝撃波結石破碎術（ESWL）

(3) その他

後期研修に進んだ医師は卒後4年目で経尿道的尿路結石破碎術（TUL）、経尿道的ホルニウムレーザー前立腺核出術（HOLEP）、腹腔鏡下手術、ロボット支援手術などを術者として習得しており、多くの機会を活用して実力を養うことが可能です

EV 評価

PG-EPOC による評価方法（研修医⇔指導医）

※研修医は、各分野の研修終了後、速やかにその分野の自己評価を行い、PG-EPOC 評価システムに入力すること